

♪ 2023年度 *poco a poco* ♪

Nr. 9 2023年8月21日(月)

文責:プファイル・辰巳

2学期のスタートです!

日本ではまだ夏休み中の学校も多い時期ですが、フランクフルト日本人学校では2学期が始まりました。

みなさん、夏休みは計画通り過ごせましたか。長いはずの4週間も、過ぎてしまえばあっという間ですね。休み中も規則正しく、メリハリのある毎日だったでしょうか。学校の授業が始まると、チャイムの鳴る生活が戻ってきます。十分な睡眠をとり、朝ご飯をしっかり済ませて、毎日元気に登校してきてくださいね。音楽室でまた元気な歌声を聞かせてください。



授業準備 OK ?

夏休み中に鍵盤ハーモニカやリコーダーのお掃除は済んでいますか。最初の授業時間から、忘れ物のないように気をつけましょう。低学年のみなさんは、音楽袋があると教室移動がしやすいですね。

音楽こぼれ話 < 生誕150周年 没後80周年

セルゲイ・ラフマニノフ >

1873年にロシアで生まれた作曲家ラフマニノフは、1943年に亡くなっており、生誕・没後のどちらも、今年は記念の年に当たります。

ラフマニノフの代表作といえば、まず「ピアノ協奏曲第2番」が挙げられます。その旋律の美しさ故に、様々な映画のBGMに使用されたことがあります。また「ヴォーカリーズ」の旋律も大変有名です。ヴォーカリーズとは歌詞がなく、母音のみで歌われる歌曲のことですが、これも旋律の美しさ故、様々な楽器用に編曲され、奏でられる機会が多いです。

幼いころから音楽の才能を認められたラフマニノフ少年は、ペテルブルグ音楽院幼年クラスに入学、後にモスクワ音楽院へと進みます。そこでは、大作曲家チャイコフスキーにも、才能を認められていたそうです。また同級生にこちらもロシアを代表する作曲家の一人スクリャービンがおり、卒業時には二人でピアノ科首席の金メダルを分け合ったそうです。ピアノ演奏だけではなく、作曲や指揮の才能にも恵まれていたラフマニノフは、作曲科も優秀な成績で卒業しています。

1917年、ロシアでは10月革命が成就し、ボリシェビキが政権を握ります。その12月ラフマニノフはスカンジナビア諸国への演奏旅行に出かけ、そのまま二度とロシアに戻ることはありませんでした。しばらくデンマークを拠点に演奏活動を行った後、ラフマニノフが目指したのはアメリカ合衆国でした。

アメリカ移住後のラフマニノフは、ピアニストとしての活動に重きをおき、作曲活動は低調になりました。1925年以降はヨーロッパでの演奏活動も再開し、1930年代にはスイスのルツェルン湖畔に別荘を建て、ヨーロッパでの演奏活動の拠点としました。

しかし、その活動もナチス台頭と共にままならなくなり、第2次世界大戦中の1943年、70歳の誕生日の目前に、カリフォルニア州ビバリーヒルズの自宅で、ラフマニノフは死去しました。

ラフマニノフは身長が2メートル近くもある体躯で、巨大な手を持っていたそうです。12度の音程(ドから1オクターブ上のソ)を押さえることができたと言われていました。また、ラフマニノフが演奏活動を行っていた時代は、録音技術が実用化されていた時期でもあり、現在でもラフマニノフの演奏録音を聴くことができます。私も復刻版のラフマニノフ自演「ピアノ協奏曲第2番」のCDを、学生時代にいそいそと買いに行った記憶があります。今年はダブルで記念の年を迎えたラフマニノフの音楽に、みなさんも演奏会で出会う機会があるのではないのでしょうか。

ちょっとだけ 演奏会情報

「博物館通り祭り」

Museumsuferfest 2023」

フランクフルトの恒例夏祭りの一つ、「博物館通り祭り」は今週末です。25日(金)からスタートし、27日(日)の夜までたくさんのプログラムが用意されています。最終日の22時から、メイン河岸で花火大会も予定されています。(裏面に続く)



お祭りの間は「Button(バッジ)7ユーロ」を購入する(各博物館の入り口またはツアーリストインフォメーションで購入可能)と、3日間を通じて各種博物館に自由に入場できます。(6歳以下は入場無料です。)

また博物館通りの出店を見て歩くのも楽しいですね。博物館内や野外の仮設舞台などで、たくさんの催し物が用意されています。(詳しいプログラムはインターネットで検索してみてください。)

特にこのお祭りの一環として、毎年レーマー広場周辺の教会で行われるリレー式コンサートを順に聴いて歩くのは、大きな楽しみの一つです。土曜日はパイプオルガン、日曜日は合唱のコンサートが予定されています。

各コンサートは30分程度、入場は無料(これらのコンサートはButtonがなくても教会に入ることができます。)上手に移動すれば、毎時ちょうどに始まるコンサートが順々に聴ける仕組みになっています。是非この機会にドイツのパイプオルガンの響きや、石造りの教会の中での合唱の響きをお楽しみください。

(プログラムは右記の通り)



8月26日(土曜日)
オルガンコンサート
(Orgelmeile)

16時 聖レオンハート教会
「バッハの音楽」

17時 ドライケーニツヒ教会
「バッハとレーガーの出会い」

18時 ハイリゲ・ガイスト教会
「Happy Birthday ,Max」

19時 リーフフラウエン教会
「星の王子様」

20時 聖カタリーネン教会
「夏の祭りの音楽」

21時 カイザー・ドーム
「レーガーとラフマニノフ」

8月27日(日曜日)
合唱コンサート
(Chormeile)

※合唱コンサートは17時からです

17時 ドライケーニツヒ教会
「The Sound of Hillsong」

18時 ハイリゲ・ガイスト教会
「Domine Deus」

19時 リーフフラウエン教会
「スカンジナビアの合唱曲」

20時 聖カタリーネン教会
「詩編の歌」

21時 カイザー・ドーム
「レーガーとラフマニノフ」

※ドライケーニツヒ教会はザクセンハウゼン側にあります。

その他の教会はすべてハウプトヴァッヘ・レーマー周辺にあります。

詳しくは Museumsuferfest 2023 のサイトを参照してください。

www.museumsuferfest.de/2023